

九州大学 大型計算機センターニュース

No. 280

福岡市東区箱崎6丁目10番1号
九州大学大型計算機センター
広報教育室(TEL.092-641-1101)
内線 2505

目 次

計算機室の改修に伴う計算サービスの一時停止について.....	1
--------------------------------	---

計算機室の改修に伴う計算サービスの一時停止について

昭和58年12月10日(土)から昭和59年1月14日(土)まで、次のような万止むを得ない事情により計算機室の改修を行うことになりましたので、その間計算サービスを一時停止させていただきます。利用者の皆様には多大なご迷惑をおかけすることと思いますが、何卒よろしくお願いいたします。

現在使用中の計算機室は昭和45年のセンター開設当時のままでありまして、10数年を経過した今日では当然全面的な改修が必要であります。特にフリーアクセスフロアの老朽化が著しく、FACOM 230-75およびM190導入時に部分的に処置はしましたが、未処置の部分と処置済みの部分との境は床に段差があるため利用効率が悪く、また、床全体の強度についても危険性が指摘されております。

このため、設置面積当たりの重量が大きい磁気ディスク装置については分散配置すら考えなければならない状況であります。このままでは来年の3月末から4月にかけて予定している磁気ディスク装置、その他周辺装置の増強さらに10月から11月に予定している磁気ディスク装置の増強には総合的な機器配置の変更を行わなければなりません。その際には当然長期の運用停止期間が必要となります。そればかりか床強度の面で増強が可能かどうか懸念される現状です。このため、センターではこの数年来計算機室の整備のため予算要求を行ってきましたが、ようやく本年度の予算で改修工事が認められ、センターにとりましては年来の希望がかなえられたところであります。

以上のような事情でありまして、この工事の必要性については大方の利用者のご理解をえられるものと思います。問題はその工事に伴う運用停止の期間ですが、センターとしては、従来から比較的利用の少ない3月下旬から10月の時期に約1箇月をかけて工事をすることが適当と考えておりました。特に本年は7月末に実施したM382の導入の際に併せてこの工事を行うことが理想的でしたが、予算確定の時期(8月)およびその後の工事設計、入札等一連の工事事務執行の関係上どうしてもこれは不可能でした。従って、今回は工事施行の都合上、利用者が多い時期ではありますが、せめて年末年始の休業日を利用し実質的に計算サービス停止期間を短縮しうるこの時期に工事

期間を設定せざるをえませんでした。しかし、今回この工事を実施することにより計算機室の整備が完了しますと、機器の配置についてある程度の余裕ができますので、来年予定しております大幅な機器増強の際には運用停止期間は比較的短期間ですむものと考えています。この辺の事情をご理解の上、利用者の皆様のご協力を切にお願いいたします。なお、本年度につきましては、皆様のご不便をいささかなりとも解消するために下記の通り本年11月から来年2月の間利用時間を延長させていただきます次第であります。

九州大学大型計算機センター長

11月以降の計算サービス時間について

58年11月1日から59年2月29日までの計算サービス時間は次のとおりです。なお、本年は、計算機室改修工事のため、サービス業務を停止しますので、例年よりもサービス終了時間の延長を行います。

業務項目	サービス時間	備考
オープン入出力 出力検索 オープン磁気テープ グラフィックディスプレイ 画像処理装置 紙テープ OCR フロッピーディスク キーツフロッピー オープンパンチ	(月) 12:30~22:00 (火)~(金) 9:00~22:00 (土) 9:00~12:00	
センター内TSS ハードコピー装置	(月) 12:30~24:00 (火)~(金) 9:00~24:00 (土) 9:00~16:00	
センター外TSS RJE ネットワーク	(月) 12:30~ 2:00 (火)~(金) 9:00~ 2:00 (土) 9:00~17:00	但し11月は (月) 12:30~24:00 (火)~(金) 9:00~24:00

- 備考
1. 滞在者控室の利用時間とプログラム相談の時間は従来どおりです。
 2. 毎週月曜日12時30分までは計算機システムの保守を行います。
 3. 月曜日から金曜日までの22時以降、及び土曜日の12時以降は無人運転となっておりますので、システム障害が発生した場合は、計算サービスを打切らせていただきます。

(業務掛 電(内)2518)